

えんだより

2019年
3月号



NO. 156
シャローム三育保育園

園庭整備も無事に終わり新しい遊具が完成しました。子どもたちも出来上がっていく様子を毎日眺めながら、遊びのイメージを膨らませていた事と思います。遊びを通してたくさんの楽しい思い出を作ってほしいと願っています。

桃の節句を迎えるといよいよ春本番です。モノトーンの景色から草花が咲き始め新緑が目に見え鮮やかな風景に変わります。そしてなによりも温かくなるのがうれしいですね。

3月はお別れの時期でもあります、それはまた新しい出会いの始まりです。4月からの新生活を楽しみに迎えられるよう準備をしていきましょう。

園長 村上 渉

*掲示板練習メッセージ3月1日頃配信いたします



| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----------|---------------|---------|--------------------|----------------------|-----------------------------------|----|
| | | | | | 1 老人ホーム訪問 (5歳児) | 2 |
| 3 | 4 礼拝 | 5 体操教室 | 6 避難訓練 卒園式リハーサル | 7 英語教室 (3.4.5歳児) | 8 | 9 |
| 10 | 11 礼拝 | 12 体操教室 | 13 誕生会 卒園式リハーサル | 14 英語教室 (4.5歳児) | 15 絵本読み聞かせ (3歳児) 卒園遠足 (5歳児) | 16 |
| 17 | 18 礼拝 お別れ会 | 19 | 20 | 21 春分の日 | 22 卒園式 保育園職員会議 | 23 |
| 24/ 31 | 25 礼拝 | 26 | 27 | 28 英語教室 (2.3.4歳児) | 29 | 30 |



「笑う門には福来る」

二月の節分祭では、赤鬼と青鬼の登場に乳児のおともだちは大泣きでしたが、幼児のおともだちは自作のお面を被り自ら鬼になって見事に返り討ちにすることができました。鬼を追い払った後はみんなが笑顔になりきってたくさんの福を呼び込むことができたことでしょう。

“笑い”には免疫力を高め、アンチエイジング等の様々な効果があることはご存知の通りです。いつも笑顔でいられたらどんなにいいかと思いますが人生そうはいきませんね。山あり谷あり、大変な時を乗り越えるからこそ幸せを感じ、楽しいときがあるわけです。先月の園だよりで「共感」について書きましたが、相手の気持ちを理解しようとするとき、自然と自分の表情も相手と同じになっていることに気づきます。「表情」とは“情”が“表れる”と書くように気持ちは顔に現れます。「顔に書いてある」とはまさにこのことですね。楽しいとき、嬉しいとき、悲しいとき、悔しい時、困っている時、怒っている時に誰かに聞いてほしい、分かってほしいと思うのは人の性です。人は成長していく中で、我慢する事や気持ちを整え方を覚えて感情を抑制できるようになっていきますが、まだ発達途中の子どもには難しいことです。これから自分の気持ちを上手に表現することができるようになるためにも、まずはしっかり受け止めてあげる事が大切です。毎日忙しく過ごしていると、子どもの顔も見ているようでちゃんと見ていない事があります。

視線を合わせてお話をする、ちょっと意識して子どもの顔をちゃんと見る時間を作りましょう。子どもの表情はとても分かりやすいので、その時の気持ちをくみ取ることができます。子どもも子どもなりに親や大人の顔を見て感じ取っています。誰でも、一人で自分の気持ちと向き合うのは寂しいものです。家族や周りの大人たちが、どんな時にでも一緒に「共感」してくれる存在でありたいと思います。

何はともあれ、笑顔でいられればそれが一番です。笑顔は伝染していきみんなの笑顔が集まってきます。皆さんも是非“一日一笑”。

園長

